

平成24年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

西洋法制史

問1 西洋法制史上12世紀が大きな転換期であることを、具体的に論じてください。その際、次の論点は必ず取り上げること。①ローマ法の復活、②教会法の形成、③職権的訴追制度の成立、④コモン・ローとシヴィル・ローの分岐。

問2 下記のうちから2つを選択し、簡潔に説明してください。

- ① 条例理論
- ② 聖俗両権（剣）論
- ③ 雪冤宣誓
- ④ 訴訟方式
- ⑤ マグナ・カルタの神話化